

# 平成 30 年度教育活動に関する保護者・職員アンケート（前期学校評価）

（学校経営・運営ビジョンの内容を評価の項目・観点とする）

学校評価委員会

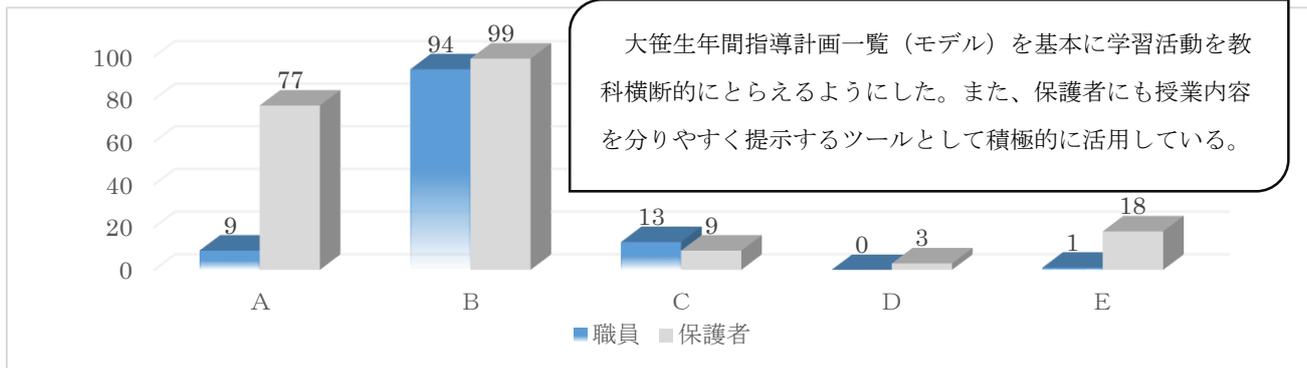
A・・・とてもよくできている B・・・よくできている C・・・あまりできていない D・・・できていない E・・・わからない

## 重点目標・重点事項

### 1 【重点目標】

教育活動の質の向上と学習効果の最大化を図り、授業の改善・充実を図ります。

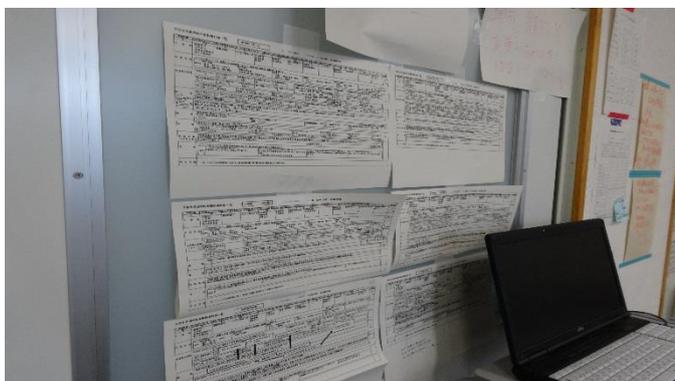
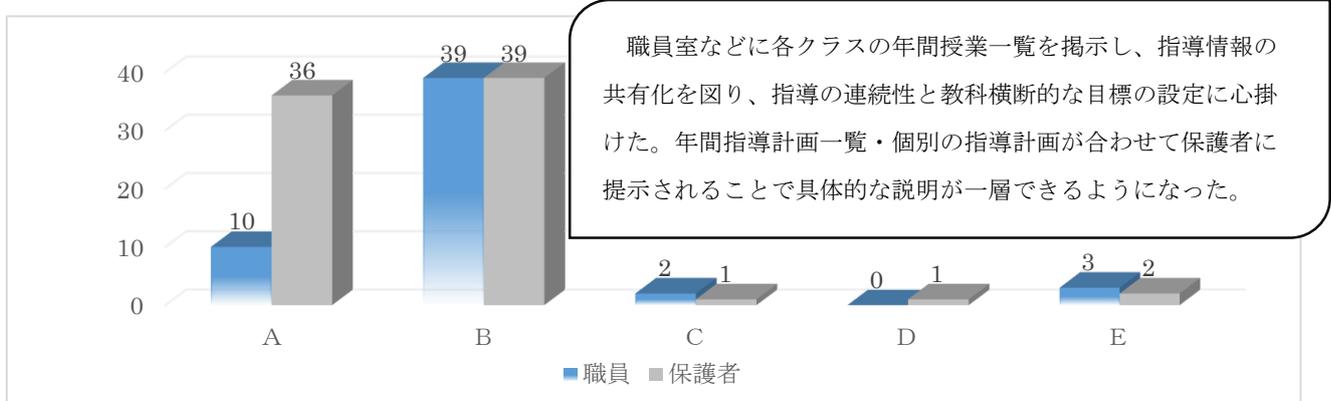
（授業が分りやすく、効果が上がっていると感じていますか。）



### 2 【小学部重点事項】

年間指導計画一覧を活用し、教科横断的な視点に基づき、習得した知識や技能を活用する授業づくりに努めます。

（年間指導計画一覧に各教科などの内容が記入され、活動内容が具体的に示されていますか。）



（年間指導計画・学部一覧）

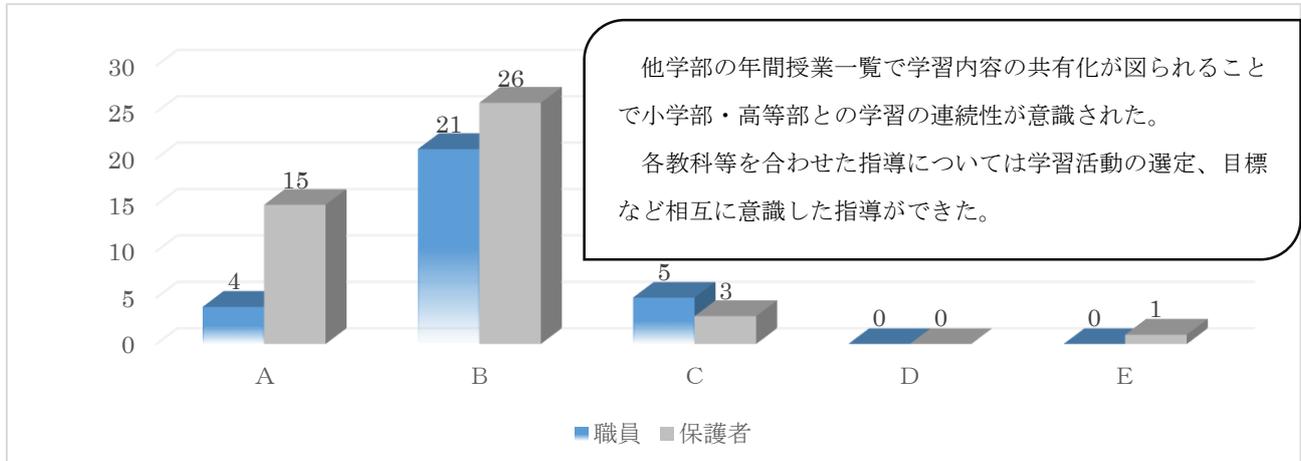


（学年活動ボード）

### 3 【中学部重点事項】

小学部や高等部とのつながりがもてるよう教育課程を編成し、各教科等の関連性を図りながら習得した知識や技能を活用する授業づくりに取り組みます。

(小学部の学習の積み上げや、高等部へのつながりを意識した活動になっていますか。)



(上川崎の和紙工房体験)

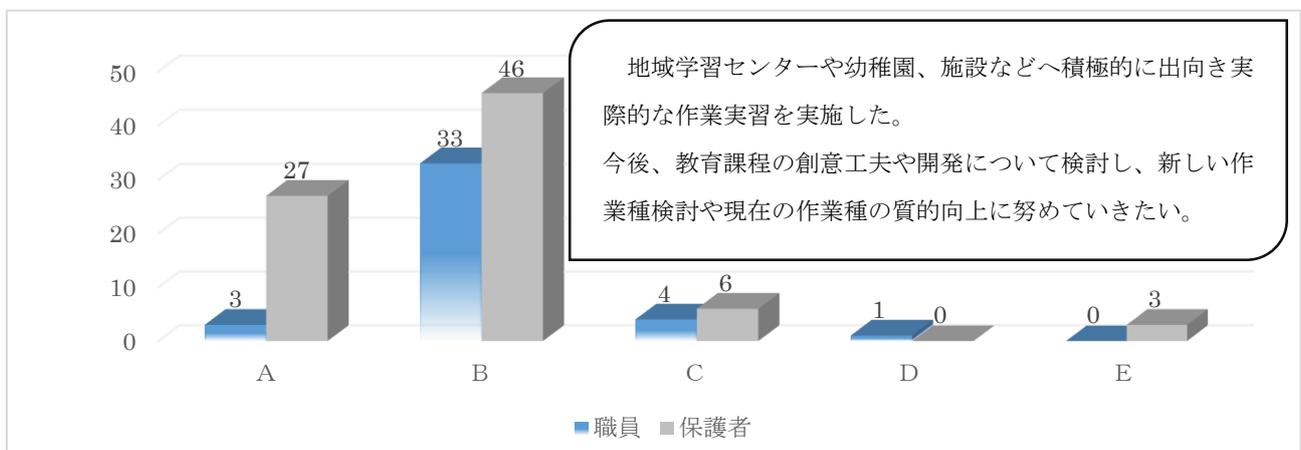


(重複学級・音楽科)

### 4 【高等部重点事項】

地域や社会の状況を幅広く視野に入れ、社会参加・自立につながる新たな教育課程の創意工夫・開発に努め、年間計画の作成と活用を協働的に進め、指導内容と授業実践の充実に努めます。

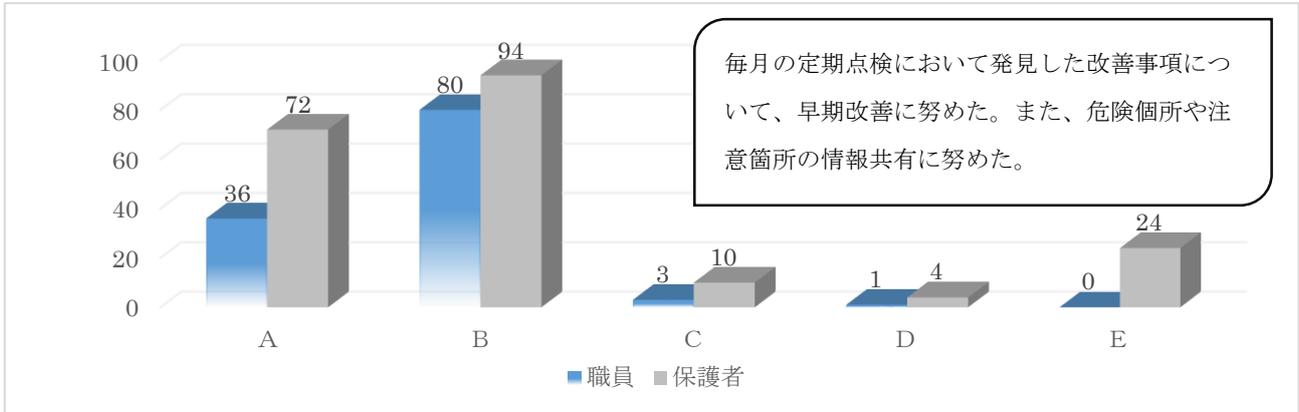
(将来の自立のに向けた学習として、地域交流や社会参加につながる活動が積極的に行われていますか)



## 安全・安心な学校づくり

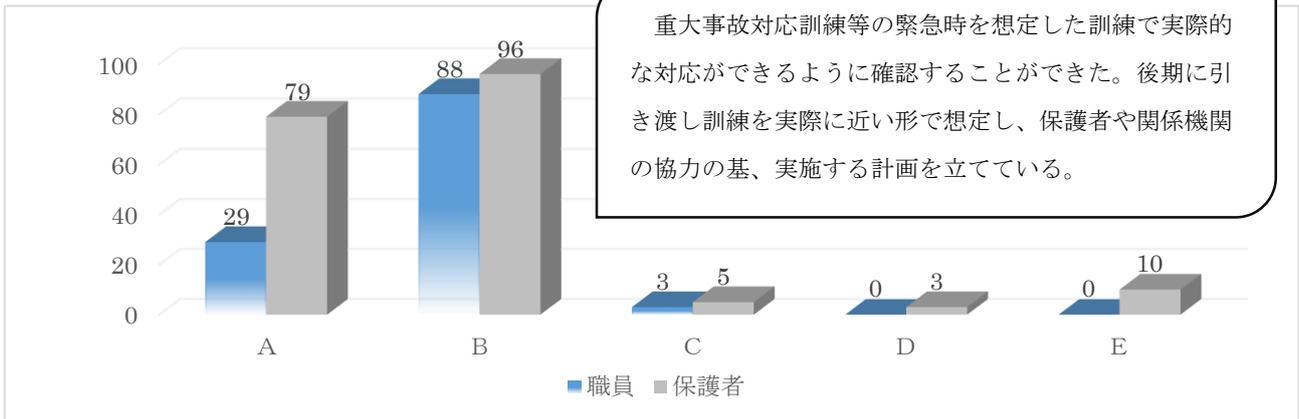
### 5 【学校事故の絶無】

定期的な施設設備の点検によって危険個所の早期改善を実施し、安全な学習環境の整備に努めます。



### 6 【防災及び防災教育の充実】

種々の災害を想定した訓練や研修を実施し、判断力や行動力を身に付け、緊急時において全職員が連携した対応をします。

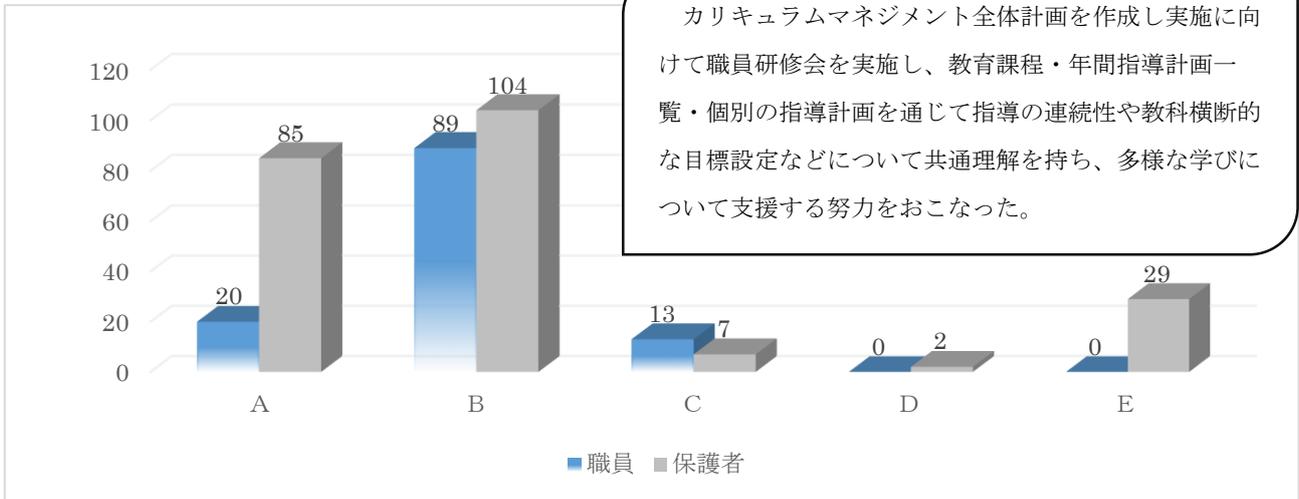


(不審者対応訓練)

## 授業の充実と教員の専門性の向上

### 7 【学びを支えるインクルーシブな学校づくり】

年間指導計画一覧と個別の指導計画を活用し、児童生徒一人一人の多様な学び方に応じた指導と評価を行います。

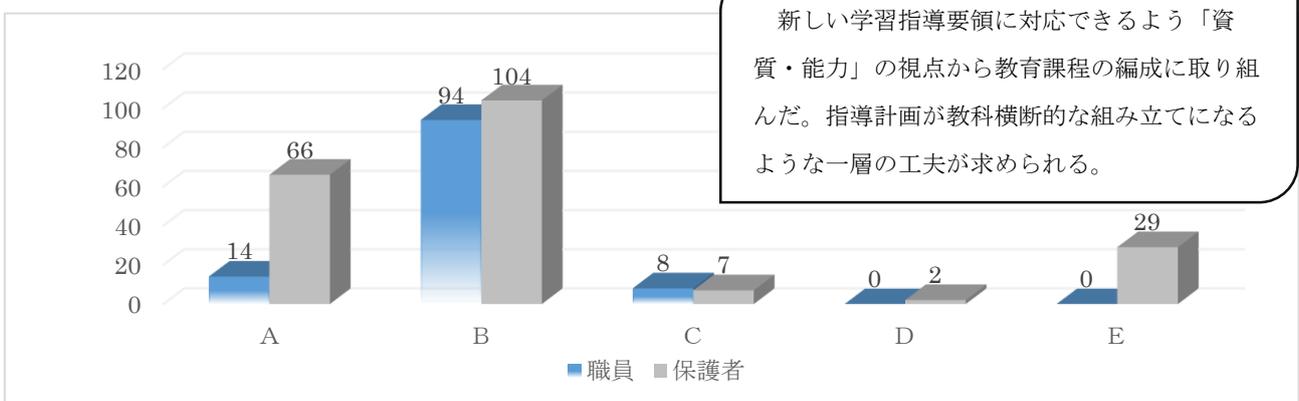


(カリキュラムマネジメント研修会)

(新学習指導要領・教育課程編成学年主任会)

### 8 【障がいの特性に対応できる専門性向上】

授業研究会及び各教科・領域別の研修会を実施し、教員同士が学び合いながら障がいの特性に応じた授業力の向上を図ります。





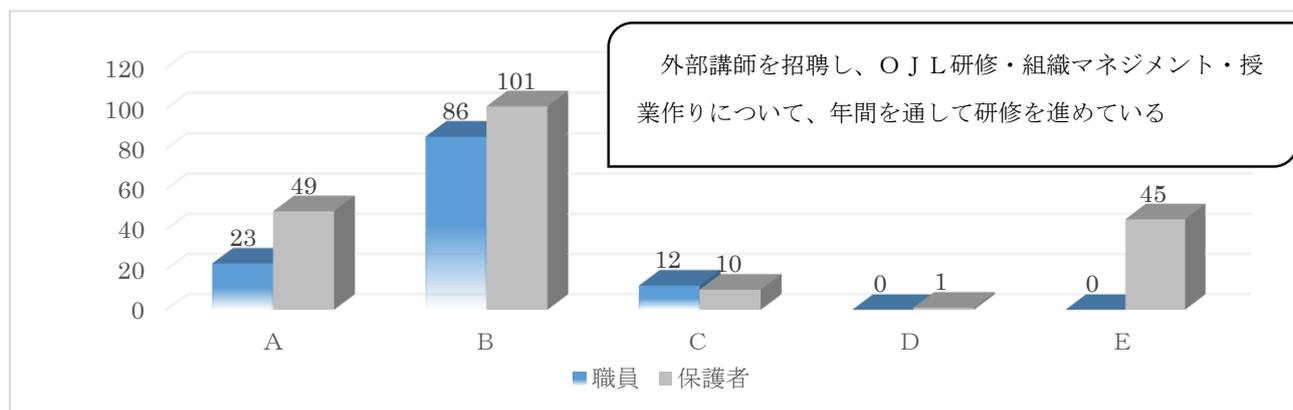
(摂食指導講習会)



(救命救急法)

### 9 【外部専門家の協力による教員の専門性の向上】

外部専門家の協力を得て、インクルーシブ教育システム、学習指導要領、組織マネジメント、個別の支援方法等の研修会を行い、教員個々の専門性と学校組織力の向上を図ります。



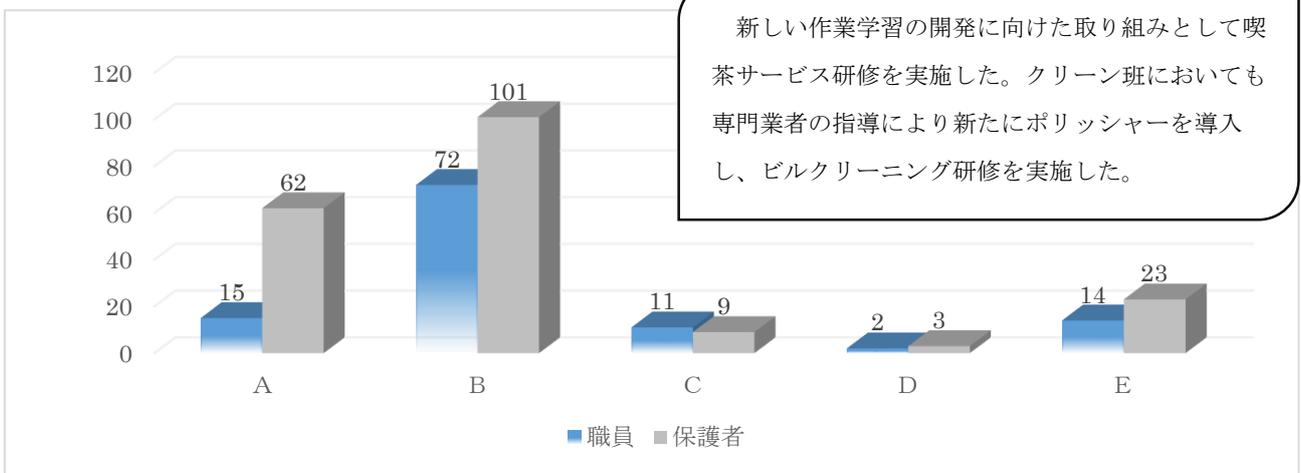
(OJL研修①)



(OJL研修②)

### 10【一人一人のニーズに応える進路指導の充実】

積極的・計画的に職場開拓や関係機関との情報交換を行い、産業現場等における実習の校内実習の新しい作業種の開発や校外実習先の確保に努めます。



(福島県特別支援学校作業技能大会)



(クリーン班・ポリッシャー)



(レザークラフト班)

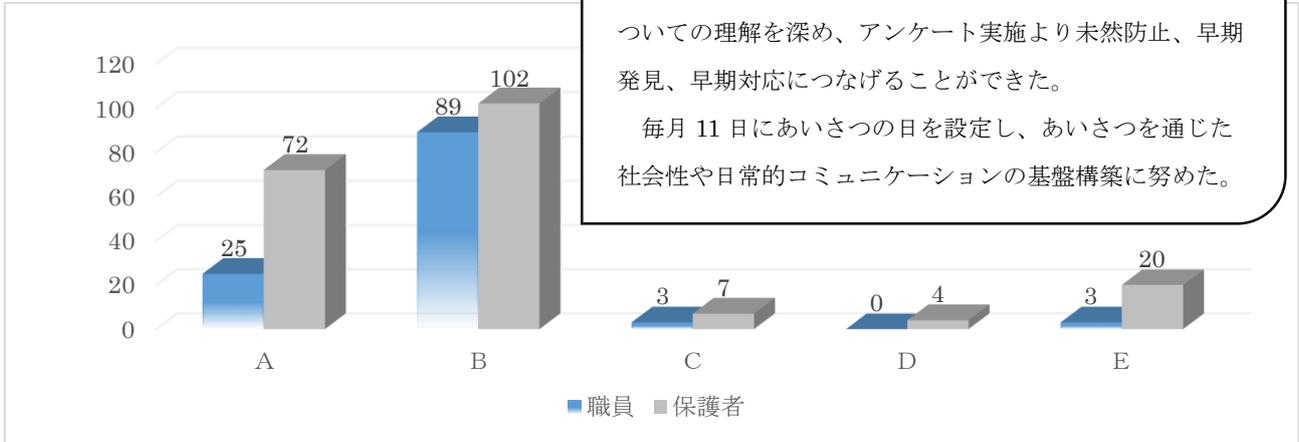


(手工芸班)

## 心の安定と健康な身体

### 11 【いじめ防止対策の実施】

児童生徒・保護者にアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行い、安心して学校生活を送れるようにします。

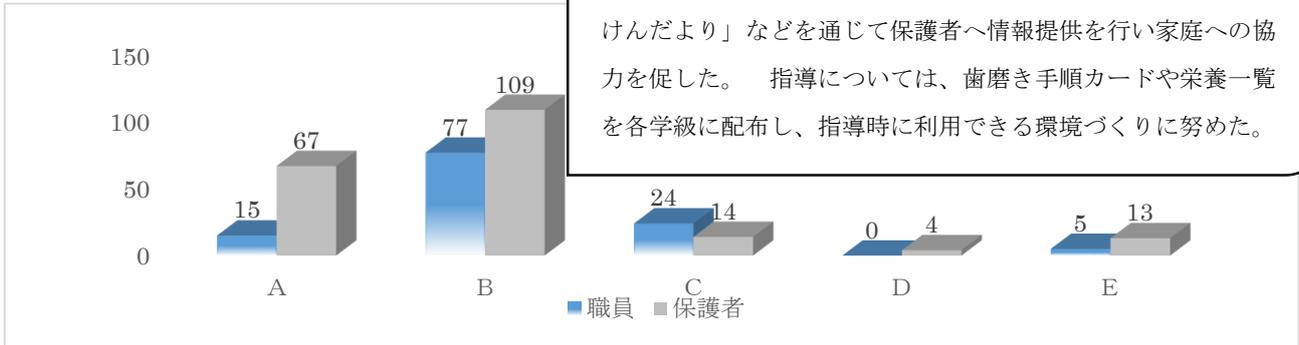


いじめ防止に関するパンフレットの配布によりいじめについての理解を深め、アンケート実施より未然防止、早期発見、早期対応につなげることができた。

毎月11日にあいさつの日を設定し、あいさつを通じた社会性や日常的コミュニケーションの基盤構築に努めた。

### 12 【生活指導の充実】

食育や肥満防止、虫歯予防について講習会の開催や資料での情報提供を行いながら、保護者と協力して支援できるようにします。



食育・肥満予防や虫歯予防・治療については、計画的に「ほけんだより」などを通じて保護者へ情報提供を行い家庭への協力を促した。指導については、歯磨き手順カードや栄養一覧を各学級に配布し、指導時に利用できる環境づくりに努めた。

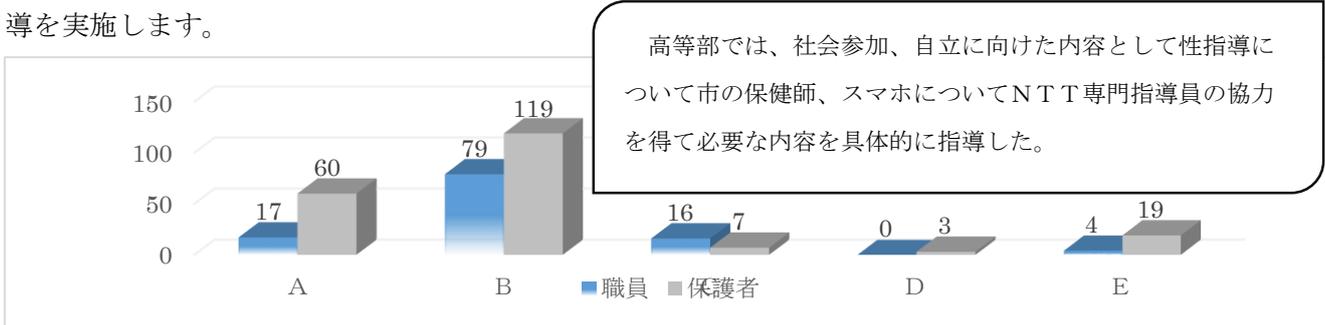


(食育・給食試食会)

(歯科検診)

### 13 【生徒指導の改善・充実】

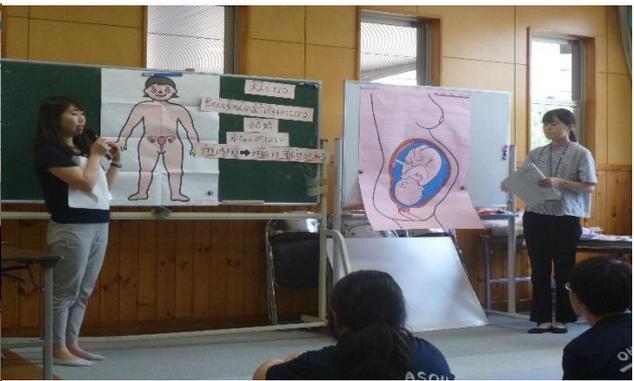
学部や児童生徒の発達段階に応じて、基本的な生活習慣・規範意識・性指導に関して段階的・系統的な指導を実施します。



高等部では、社会参加、自立に向けた内容として性指導について市の保健師、スマホについてNTT専門指導員の協力を得て必要な内容を具体的に指導した。



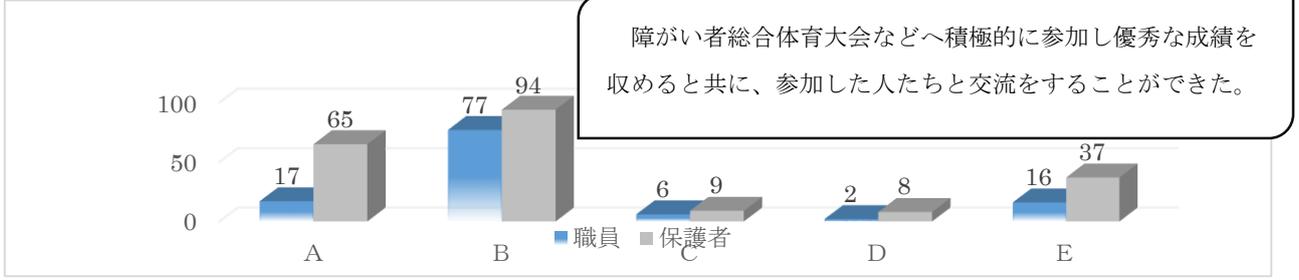
(養護教諭による中3保健指導)



(市保健師による高等部の性教育講座)

### 14 【生徒会活動・部活動の充実】

学校周辺地域の清掃活動を自主的に企画したり、福島ユナイテッドFCとのスポーツ交流に参加したり、障がい者スポーツ大会へ積極的に参加できるようにします。



障がい者総合体育大会などへ積極的に参加し優秀な成績を取めると共に、参加した人たちと交流することができた。



(障がい者総合体育大会 バasketボール)



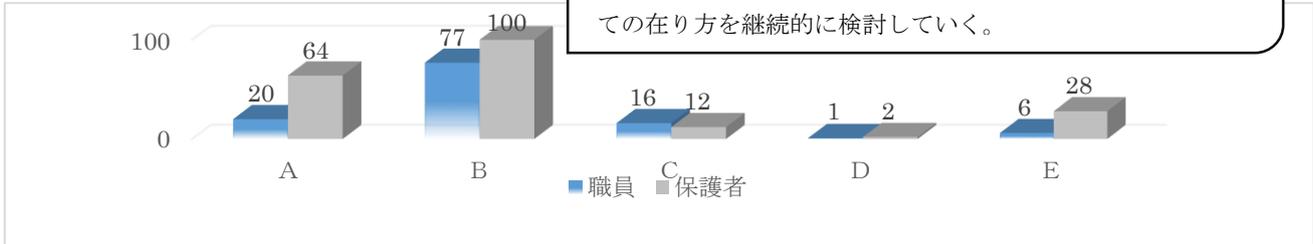
(水泳)

## 特別支援教育のセンター的機能の充実

### 15【来校相談・校内相談の充実】

「地域支援センターささっこ」「地域サロン」としてセンター機能が強化され、相談機能や保護者・地域住民との交流の場を充実させます。

パンフレット等で来校・校内相談についての情報を幅広く周知した。「地域サロン」として検討し、地域交流の場としての在り方を継続的に検討していく。



(地域サロン)

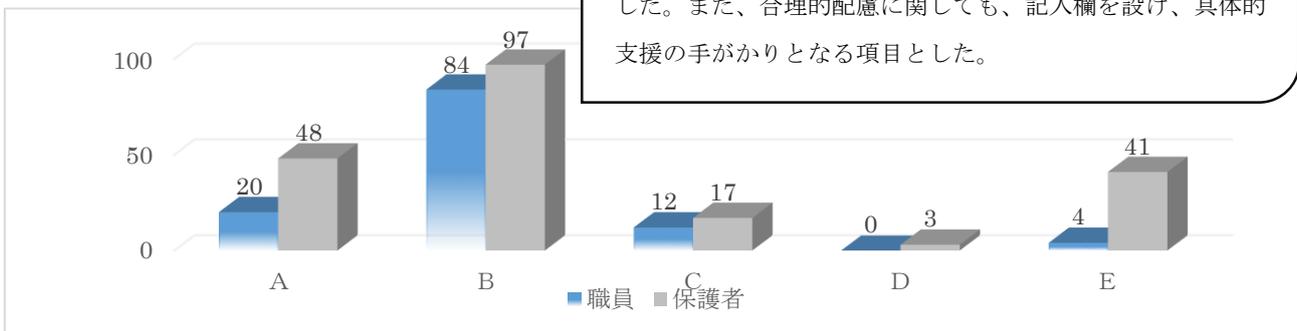


(地域支援センターささっこ)

### 16【合理的配慮の提供】

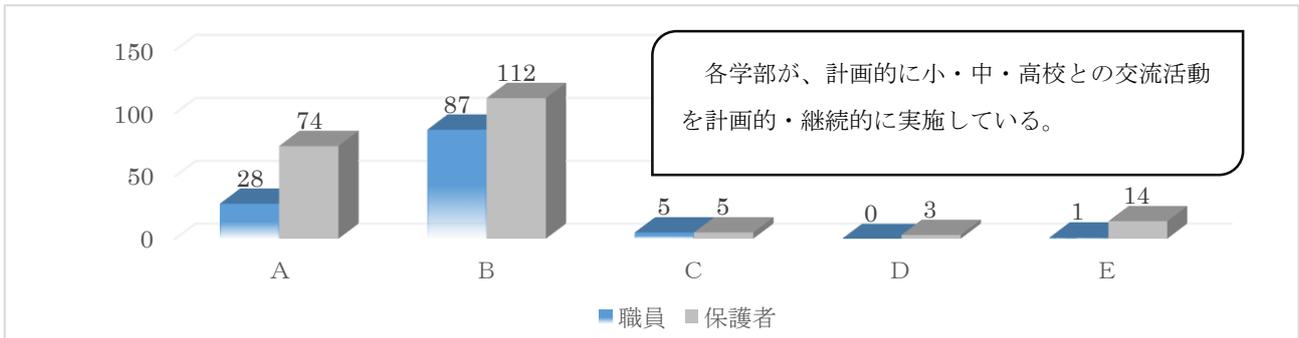
「未来を創る支援マップ」を作成し、福祉サービス利用の状況や合理的配慮の提供について保護者・教職員で共有します。

個別の教育支援計画を「未来を創る支援マップ」として見直し、地域の中で関係機関が支援ツールとして使える工夫をした。また、合理的配慮に関しても、記入欄を設け、具体的支援の手がかりとなる項目とした。



### 17【交流及び共同学習の充実】

年間を通して、地域の小学校や中学校・高等学校との計画的な学校間交流及び共同学習を実施します。



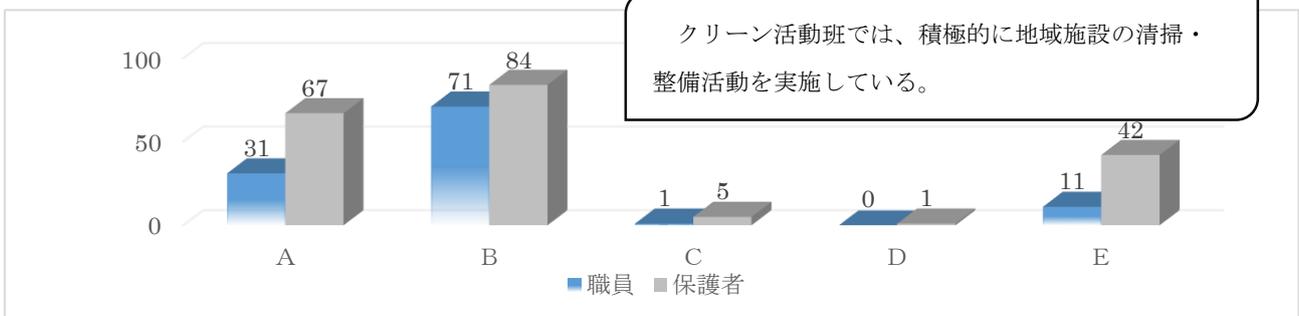
(高等部・成蹊高校交流)



(小学部・大笹生小交流)

### 18【地域交流・地域貢献の推進】

高等部クリーン活動班では、地域の学習センター等の清掃に取り組んだり、教育支援部で特別支援教育セミナーを実施したりして特別支援教育の理解・啓発に努めます。



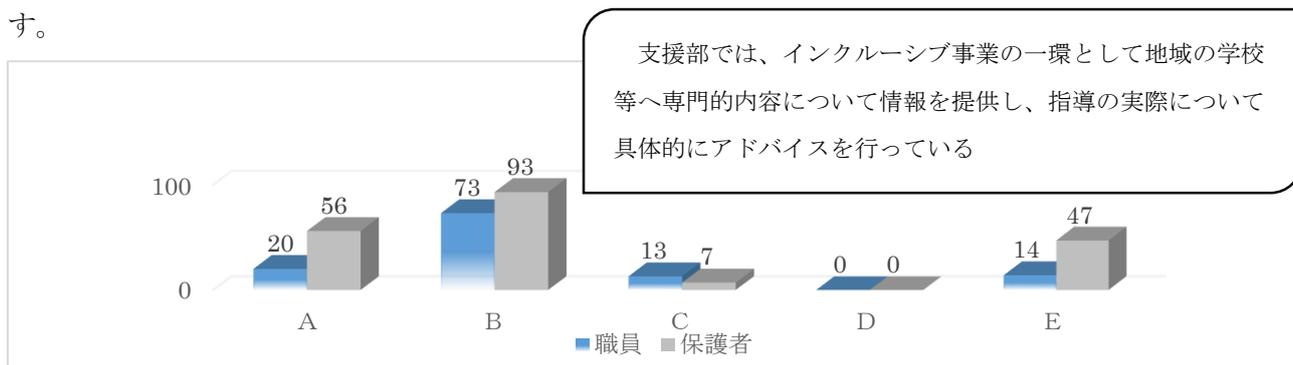
(信陵学習センター清掃)



(施設けやきの村清掃)

### 19 【学校間連携の充実】

地域の保育所・幼稚園・小・中学校と連携し、養育や指導、校内支援体制に関する相談・支援を行います。



(相談)



(講演会)